

2007年8月31日

J-PARC 運営会議議長 殿

高エネルギー委員会

J-PARC のグランドデザイン策定に関する提案

世界最高強度の多様なビームを生成することが期待されているJ-PARCは、素粒子・原子核から物質・生命研究にわたる幅広い学術研究ならびに産業利用を支える基盤研究施設であり、今後とも加速器の性能向上及び実験施設の拡充が図られつつ、長期間運転が継続されると考えられます。

加速器・実験施設の建設が最終段階に入り、ビームコミッショニングが始まろうとしている現在、喫緊の課題は「Day-1実験」が必要とする加速器性能を達成することにあります。一方、J-PARCの将来を展望したグランドデザインの策定と、それに基づく具体的な加速器・実験施設の将来計画について検討を始めることも必要です。

現在のJ-PARC運営体制のなかで、このような検討を行う組織は存在しません。我々は、このための「研究計画委員会（仮称）」をJ-PARC運営会議の下に設けることを提案します。「研究計画委員会」は、J-PARCでの研究・利用に関係するすべての分野の代表で構成され、各研究者コミュニティの計画を元に、それぞれのコミュニティが推進する計画全体との整合性を図りながら、分野間の調整をしつつ、J-PARCでの研究を展望し、グランドデザインを策定して運営会議に報告するものです。J-PARCセンターはこのグランドデザインを元に具体的な加速器・実験施設の将来計画を作成します。

各分野の研究計画・利用計画については、例えば素粒子原子核研究所や物質構造科学研究所の運営会議等のKEK機構内の組織、ならびに高エネルギー委員会、核物理委員会、日本中性子科学会、中間子科学連絡会等の研究者コミュニティを代表する組織で十分に検討され、その結果が「研究計画委員会」に反映されなければなりません。

なお、利用者協議会は「利用者の立場からJ-PARCの運営及び利用に関する事項について協議する」場であり、グランドデザイン策定とは異なるミッションが与えられています。J-PARCの利用者はオフィスや外国人ビザなど様々な問題を抱えており、利用者協議会は今後ともこれらの問題に対処する場として重要な役割を果たします。

J-PARC運営会議の皆さまには上記の提案につき御議論いただきますようお願い申し上げます。高エネルギー委員会は今後ともJ-PARCの将来がより実りの多いものになるよう努力していく所存です。

以上